

第1回 平成19年度	団体部門	市長賞	医療法人財団 はまゆう会 新王子病院 株式会社グリーン 社会福祉法人 南風会 ヘルシーハイム 株式会社三井ハイテック
		奨励賞	医療法人 寿芳会 芳野病院 北九州商工会議所 女性会
		市長賞	高橋 素子(三萩野病院)
		奨励賞	緒方 有為子(福祉用具プラザ北九州)
	個人部門	市長賞	高橋 素子(三萩野病院)

第2回 平成20年度	団体部門	市長賞	医療法人 真鶴会 小倉第一病院 社会医療法人 製鉄記念八幡病院(旧:新日鐵八幡記念病院) 株式会社安川電機 社会福祉法人 容風会 総合福祉施設 おきなの家 日本コンピュータ株式会社
		奨励賞	社会福祉法人 西日本至福会
		市長賞	杉井 千春(株式会社安川電機)
		奨励賞	本山 晴子(北九州ワーキングマザーネットワーク)
	個人部門	市長賞	杉井 千春(株式会社安川電機)

第3回 平成21年度	団体部門	市長賞	社会福祉法人 北九州市手をつなぐ育成会 株式会社新菱
		奨励賞	コンダクト株式会社 株式会社不動産中央情報センター
		市長賞	籠田 淳子・修一夫妻(有限会社ゼムケンサービス)
	個人部門	市長賞	籠田 淳子・修一夫妻(有限会社ゼムケンサービス)

第4回 平成22年度	団体部門	市長賞	独立行政法人 地域医療機能推進機構九州病院(旧:九州厚生年金病院) 富士通コミュニケーションサービス株式会社 北九州サポートセンター 社会福祉法人 敬寿会 美咲ヶ丘
		市長賞	杉 信市(杉建築設計事務所)
		奨励賞	松井 真理子(医療法人真鶴会 小倉第一病院)
	個人部門	市長賞	杉 信市(杉建築設計事務所)

第5回 平成23年度	団体部門	市長賞	有限会社ゼムケンサービス 社会福祉法人 恩賜財団済生会 済生会八幡総合病院 社会福祉法人 北九州あゆみの会
		奨励賞	社会福祉法人 北九州あゆみの会
		市長賞	荒木 晴美(TOTO株式会社)
	個人部門	奨励賞	川原 英明(北九州農業協同組合)

第6回 平成24年度	団体部門	市長賞	株式会社ソルネット 株式会社陽和
		奨励賞	株式会社ゴトウ 時計・宝石・めがねのヨシダ
		市長賞	伊藤 初江(新日鉄住金エンジニアリング株式会社) 杉井 隆造(株式会社安川電機)
	個人部門	奨励賞	有馬 広海(済生会八幡総合病院) 南 充子(北九州ヘルパーステーション) 元重 香代(住宅設備施工会社)

第7回 平成25年度	団体部門	市長賞	みずほ証券株式会社 北九州支店 山九株式会社 プラント事業部 学校法人清庭学園 清和幼稚園 株式会社不動産のデパートひろた
		奨励賞	学校法人清庭学園 清和幼稚園 株式会社不動産のデパートひろた
		市長賞	郷田 郁子(株式会社ヴェンテージ)
	個人部門	市長賞	郷田 郁子(株式会社ヴェンテージ)

第8回 平成26年度	団体部門	市長賞	社会福祉法人 龍玉会 洗心保育園 社会福祉法人 もやい聖友会 株式会社 北九州銀行
		奨励賞	株式会社 北九州銀行
		市長賞	森 豪(食品等卸会社) 篠原 艶子(大門薬品)
	個人部門	市長賞	森 豪(食品等卸会社) 篠原 艶子(大門薬品)

第9回 平成27年度	団体部門	市長賞	株式会社ウキシロケアセンター 株式会社スターフライヤー 三菱化学株式会社 黒崎事業所
		奨励賞	株式会社スターフライヤー 三菱化学株式会社 黒崎事業所
		市長賞	梯 輝元(中屋興産株式会社)
	個人部門	市長賞	梯 輝元(中屋興産株式会社)

第10回 平成28年度	団体部門	市長賞	セレーノ株式会社 日本鉄塔工業株式会社若松工場 計測検査株式会社 株式会社安川ロジステック
		奨励賞	計測検査株式会社 株式会社安川ロジステック
		市長賞	大谷 竜也(小倉経済新聞編集長) 北川 ひかり(株式会社フムフム)
	個人部門	奨励賞	大谷 竜也(小倉経済新聞編集長) 北川 ひかり(株式会社フムフム)

第11回 平成29年度	団体部門	市長賞	西部ガス株式会社 北九州支社 学校法人ひかり学園 曾根ひかり幼稚園 株式会社ソル
		奨励賞	株式会社ソル
		市長賞	西部ガス株式会社 北九州支社 学校法人ひかり学園 曾根ひかり幼稚園
	個人部門	奨励賞	橋本 和宏(プレイヤーズオフィス太陽と月 代表)

(敬称略)

「北九州市ワーク・ライフ・バランス表彰」は第11回より名称が変わりました。

第12回 北九州市 女性活躍・ワークライフバランス表彰



これまでの「働き方」を、
これからの「働き方」へ

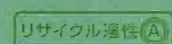


北九州市 総務局女性の輝く社会推進室 女性活躍推進課 共催:北九州商工会議所

〒803-8501 北九州市小倉北区内1-1

☎093-582-2209

北九州市女性活躍WLB表彰



北九州市印刷物登録番号第1807020C号

2018年度
北九州市 総務局 女性の輝く社会推進室

ワーク・ライフ・バランスは、仕事と生活に、よりいっそうの生きがいと喜びをもたらします。

やりがいや充実感を感じながら働き、子育てや介護、自己啓発の時間、地域との関わりを持てる。そんな調和の取れた生活を推進・実践している企業・団体や個人を表彰しました。



株式会社デンソー九州 代表取締役社長 柳下 制也

□業種/輸送用機器製造業 □所在地/八幡西区本城5-4-1 □従業員数/936人(うち女性155人)

「女性活躍推進」から「働き方」意識変革へ！製造業における「誰もが活躍できる働きやすい職場づくり」のモデルケースに！

トップダウンとボトムアップを融合させた組織体制を確立。「女性・熟年者活用推進全社プロジェクト」を立ち上げ社員ニーズをくみ上げながら柔軟な制度構築が進んでいる。

「育児休業制度改定による男性育休の促進」、「製造部門での短時間勤務」「夜勤専門派遣の導入」などの取組みを実施。会社運営にも好影響を与えているという実感が、経営・管理職層だけでなく、一般社員にも定着したことで「働き方」の意識が変わってきた。

製造業における働き方改革を、経営層と現場で働く社員がともに考える方法が実を結んだことで、グループ全体におけるベンチマーク先としても改革を推進している。



- 職域拡大
- 男性の家庭参画
- 働き方の見直し

特徴的な取組み内容

- ガイドブック配布や男性育休取得者の紹介など地道なPRで職場風土を醸成。全国平均(5.14%)を上回る取得率7.7%を達成
- 育児休業制度を改定し、休業取得開始日5日間100%有給の特別休暇を導入
- 「改善チーム」による改善の見える化。「女性ワーキンググループ」など作業見直し(改善件数170超)で作業時間を削減(金額換算すると1,100万円超/年の効果)
- 性別でなく個性をみて育成することで、女性の新たな役割へのチャレンジ意欲が向上、女性のいなかった分野への職域拡大
- 定年後の再雇用制度を改定。短日数、短時間勤務などニーズに応じた雇用環境を整備

株式会社プロデュース 代表取締役 中原 亜希子

□業種/福祉複合サービス業 □所在地/八幡西区本城東1-11-27 □従業員数/77人(うち女性61人)

自社内にとどまらない人材育成や個別の事情に合わせた働きやすい環境づくりなど、会社経営に地域貢献を融合させた新しい経営スタイルの確立

業界として処遇改善が進みながらも、マイナスイメージが強い印象のある介護業界において、「人」や「地域とのつながり」を大切にするという基本的な姿勢とトップの柔軟かつ革新的な考えを貫いた結果が、経営面においても成果となって表れている。専門職でなくてもできる家事相当の仕事を作り出して、人手不足解消策としてだけでなく、短時間なら働きたい、社会とのつながりを持ちたいという主婦や高齢者のニーズにもこたえる形で、地域における新たな雇用を生んでいる。介護業界の将来を見据えた戦略的ビジョンと、だれもが働きやすく活躍できる職場づくりの実践は、業界への推進波及や影響度の観点から高く評価できる。



- イクボス
- 両立支援
- 働き方の見直し

特徴的な取組み内容

- 地域人材を活用することで、地域への雇用還元へとつなげるとともに派遣外注費用も削減
- 「子連れ出勤」を認めることで、土日や長期休暇、急な休校などでも社員が安心して仕事に集中できる環境を整備
- 次世代女性リーダー育成のため、社内外の研修に参加させるなど積極的に人材に投資



異島電設株式会社 代表取締役 異島 洋

□業種/電気工事事業 □所在地/戸畑区新池3-3-18 □従業員数/16人(うち女性4人)

「当たり前」や「できることから」が自然に根付いた慣行と社内風土が働きやすさと女性の活躍を後押し

人材不足が顕著な課題となっている業界において、性別を問わず、人材の確保・定着できる会社にしていきたいという思いから、女性役員の理解と中小企業ならではの柔軟性を生かして「できること」から積極的に展開。下請け業者にも理解を得ながら、現場での健康管理や安全配慮にも徹底した管理を行うことで、市内の中小企業として初めて「健康経営優良法人」の認定を受ける。また、子育て世代に対して、出退勤時間の融通や託児場所としての機能を会社が果たすなど、ごく自然に協力体制が風土として根付いている。無理のない取組みが、女性工事士の採用や女性役職者の登用、男性育児休業取得などにつながっている実態は、小規模事業所が取り組む上でのモデルケースとして期待したい。



- 職域拡大
- 両立支援

特徴的な取組み内容

- 2年連続「健康経営優良法人」認定
- 女性役職者の登用で、内勤と現場サイドとのコミュニケーションを活性化
- 男性育児休業の取得や女性電気工事士採用などの実績で、世代間ギャップの強い「働き方」の意識改革を推進



綿瀬 麻意子

□住所/戸畑区 □職業等/アクセサリブランドオーナー

「ライフシフト」で自分らしく紡いでいく人生100年時代における女性の生き方、働き方のロールモデル

夫と娘の3人家族。「Itohen.M」代表。出産後、夫の転勤や母の病氣、育児が重なり産後鬱を経験。「私が私であるために何かはじめよう」と抱いた思いが、起業家へ転身させる契機に。

専業主婦からの転身という身近さと、自分のキャリアとライフイベントをブレンドさせながら、自分で自分の人生を選択する人のことを指す「ライフシフター」として、共感を呼び、彼女と出会う多くの人の第一歩を後押しする原動力につながっている。中でも、中学生ラジオパーソナリティとして活躍中の娘の理解が、母の活躍を加速化させている。多くの母親が新しいことに一歩踏み出す際に、子育てとの両立が不安になる中で、働く母の姿が子の就労観や将来に向き合うきっかけとなるなど、お互いに活躍する女性として認め合える親子関係が築けており、これからライフシフトを目指す人たちへのロールモデルとなりうる。

布からアクセサリへと加工する過程の技術の特許を取得。第19回福岡デザインアワード受賞や公的団体からの助成など、起業家としての実力も評価されている。



仕事と生活の調和の実現は、一人ひとりが望む生き方ができる社会の実現にとって必要不可欠です。

事業の趣旨 少子高齢社会において、子どもを産み育て、男女がともに働く喜びを感じることができる社会の実現は、企業、働く人、市民、行政が協働して取り組むべき重要な課題です。そこで、女性の職業生活における活躍や、ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組む企業・団体、個人を表彰し、その取組内容を広く皆様に情報提供します。

ワーク・ライフ・バランスが実現できない状態とは
仕事に追われ、心身の疲労から健康を害しかねない、仕事と子育てや介護との両立に悩む、など仕事と生活の間で問題を抱えている状態のことです。

ワーク・ライフ・バランスが実現できる状態とは
誰もがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たす一方で、子育て・介護の時間や、家庭、地域、自己啓発等にかかる個人の時間を持てる健康で豊かな生活ができる状態のことです。